

＜エコポリスセンター 地域エコロジー講座 詳細メニュー＞

No.	35	主な対象	小学4年生以上向け(あいキッズ、寺子屋など) 一般区民向け(町会・自治会・サークルなど)
タイトル	水となかよし～ゲーム「水の旅」と、水力発電器を作ろう～(SOE)		
テーマ	身近な自然、エネルギー	形式	講義+ゲーム+工作
所要時間	1時半～2時間	人数	10～40名
推奨実施時期	通年		
講師・費用	NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア(無償)	講師派遣数	2～4名
ねらい・内容	<p>■ねらい 私たちの命を支える水は、どこにどんなすがたで存在し、地球上をめぐるのか、水の粒になって旅をするゲームを行う。楽しみながら、水の大循環を学ぶ。水力発電実験—ペットボトルで、羽を作り、LED電気付きモーターに羽を取り付けて、水道水で発電できるか各自実験して、水の力を感じる。</p> <p>■内容 ＜水の粒の旅＞ ・会場の周りに設定された、9つの場所の紙のサイコロを振って、サイコロが指示したエリアを次々に訪ね歩く。1か所で踏みとどまる場合や、どんどん変わったエリアに動いていく場合があり、エリアについたら、シールを取ってカードに貼り付け、終了したら着席し、水の粒の旅のお話を作る。時間の範囲で、発表。 ＜紙芝居＞ 「水の子チャプの決意」の読み聞かせ。水不足のため、中止になった学校のプールの再開を目指して、水の子チャプがおじいとおばあに会いに行き、雨を降らせてくれるように頼む、ぼうけん物語。旅の中で、水を利用した様々な道具や施設を知る。 ＜水力発電器づくり＞ ・各自、ペットボトル350～500mLを半分に切る。図を見て、4か所の切り込みで羽を折り、モーターにキャップを取り付ける。水道の水を強めに羽に当てると、LED電気が青・赤のどちらかの色でつく。時間がある人は、羽にもようをつける。</p>		
依頼元にご用意いただく材料等	<p>①紙などの敷物(作業台に敷く) ②はさみ ③ペットボトル—四角形のボトルが切り込みやすい。350～500mLのもの。 ④油性マジックセット(1グループに1つ) ⑤雑巾(実験中、水が跳ねるため、周囲を拭く。) ⑥筆記用具 ⑦多少、濡れてもよい服装 ⑧タオルハンカチ</p>	講師側準備物	<p>①LED電気付きモーター、人数分 ②紙芝居「水の子チャプの決意」 ③「水の旅」ゲームのセットとシール ④「水の旅」ワークシート(旅の流れを貼っていく) ⑤掲示用のセロハンテープや、養生テープなど</p>
依頼元に必要な設備・機材	<p>①水道栓5～6人に1か所、30人なら5か所など。 ②スクリーン・プロジェクター・PC・延長コード ③各自作業する机と椅子。あるいは、共同作業用テーブルと椅子。</p>	実施場所	室内で人数が密にならない広さの会場。別室に水道があるところ
依頼元必要スタッフ数	6名グループにつき1名が望ましい(要相談)		
打ち合わせ	<p>【対応時間】9時～17時 ・電話かメールで連絡がとれるようにお願いいたします。NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲアのスタッフからご連絡差し上げます。場合によっては直接会場で見・打ち合わせをさせていただきます。</p>		
その他	<p>講師謝礼につきましては、エコポリスセンターにて負担いたします。 ★確定した【参加人数・班人数】を開催10日前までにご連絡ください。</p>		